

1 事業概要

		課名	リニア整備課	事業No.	47
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	H29	終了	R9
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
	法令・例規等				
事業目的	対象	代替地候補地			
	意図	リニア関連事業による移転対象者の代替地を整備			

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	令和元年度からの代替地整備工事に向け、地権者を始めとする関係者、関係地区及び関係機関との協議、協力を得ながら、測量、調査、設計を進めました。また、代替地として提供いただける土地の取得に向けた調整、準備を進めました。		代替地整備業務等委託料				50,679	
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度
代替地整備計画・測量・調査・設計		地区			3			
30年度 決算 (千円)	予算額	138,280	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	50,679	30→1 繰越明許費 17,457千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	50,679							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	7	138,280	50,679	リニア代替地整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転対象者の意向に沿って計画的な代替地整備が必要です。</li> <li>・移転対象者は、用地費・物件補償額が分からないため具体的な移転計画が立てられない状況です。</li> <li>・共和地区は、広域的施設の動向が時間を要しており、具体的な整備計画には至っていない状況です。</li> </ul>							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転対象者に用地費・物件補償額を早急に提示し移転対象者の意向確認を進めます。</li> <li>・共和地区は、広域的施設の動向を注視しつつ、住宅地としての代替地整備の可能性を検討します。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹保・北条地区は、道路・排水路工事、代替地造成工事の進捗を図ります。</li> <li>・唐沢・宮の前地区は、道路事業の実施に向けて調査・設計・工事の進捗を図ります。合わせて移転対象者との調整を図り、移転に向けた整備計画を検討します。</li> <li>・共和地区は、広域的施設の動向を注視しつつ、住宅地としての代替地整備の可能性を検討します。</li> </ul>							